

AFICAT ニュースレター(第 1 号)

2022 年 5 月 12 日発行

今回より「日・アフリカ農業イノベーションセンター(通称 AFICAT)」の活動内容をニュースレター形式でお届けします。第 1 号となる今回は、AFICAT とは何か、3 月に開催された JiPFA の様子、3 月から始まったタンザニアでの現地活動の様子についてご紹介します。

AFICAT とは何ですか？



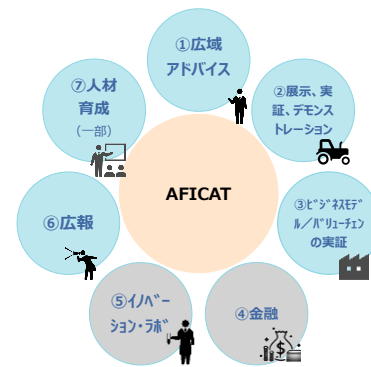
西部アフリカと東部アフリカの計 5 か国での稼働を目指しています

AFICAT の正式名称は日・アフリカ農業イノベーションセンター(Africa Field Innovation Center for Agricultural Technology)です。伝統的な農業が中心のサブサハラアフリカ地域で、本邦企業の製品や技術の導入を促進することで、アフリカ地域の農業生産性や農産品の品質向上、農民のエンパワーメントにつなげることを官民連携で目指しています。

AFICAT 構想は、2019 年 8 月に開催された第 7 回アフリカ開発会議(TICAD7)の中で表明されました。JICA は 2020 年から本邦企業の進出可能性が高いタンザニア、ケニア、ガーナ、コートジボワール、ナイジェリアの 5 か国で、AFICAT がどのように設置、稼働可能か調査しました。その後、2022 年 2 月から約 2 年間の計画で AFICAT の稼働開始に向けた準備作業、パイロット活動を始めました。

AFICAT では、対象 5 か国への進出を検討している本邦企業を対象に、将来的に次の 7 つのサービスの提供を通じて、企業の積極的なアフリカ進出をサポートすることを目指しています。パイロット活動期間中は、コメに関係する農業機械を主な対象とし、①広域ア

ドバイス、②展示、実証、デモンストレーション、③ビジネスモデル/バリューチェーンの実証、⑥広報、⑦人材育成(一部のみ)の 5 つの機能に焦点を当てます。



7 つの機能を通じて本邦企業のアフリカ進出の足掛かりとなるようサポートします

パイロット活動は、JICA 調査の一環として実施されます。パイロット活動の経験を踏まえ、中長期的な AFICAT の実施体制を検討していきます。同調査を担う(株)かいはつマネジメント・コンサルティングが AFICAT 運営チームとして企業各社からご相談を受け付けております。ご関心をお持ちの皆さまは、本レター末尾の宛先までお問い合わせください。

JiPFA で現地活動計画を発表しました！

3 月 16 日に開催された JICA 食と農の協働プラットフォーム(JiPFA)アフリカ農業分科会で AFICAT の活動計画を発表しました。その際、AFICAT の活用を表明されている本田技研工業(株)さま、(株)ケット科学技術研究所さまより AFICAT への期待を共有いただきました。

本田技研工業(株)さまからは、「AFICAT との連携でアフリカの小規模農家の生活の質の向上を目指していきたい。そのために現地パートナー探しや広報、実験圃場の提供などのサポートをお願いしたい」という期待が表明されました。また、(株)ケット科学技術研究所さまからは「アフリカ進出にあたって現地とのネットワーク構築が課題であり、販売店候補の紹介や製品紹介セミナーの開催に向けた支援をお願いしたい」という期待が表明されました。両社のこうした AFICAT 活用方針に関し、他の参加者の方々からも質問が寄せられました。

当日はオンラインでの開催でしたが、企業・関係機関



から約 80 名の皆様にご参加いただきました。次回の JiPFA での AFICAT 活動報告は、8 月の TICAD8 直前の開催を予定しております。

タンザニアでの現地活動がスタート！

3 月中旬より、タンザニアでの活動がスタートしました。現地入りした AFICAT 運営チームは、タンザニア農業省や関係機関と AFICAT の稼働に向けた具体的な協議を進めているほか、AFICAT 機能①広域アドバイスの情報収集、②展示、実証、デモンストレーションに向けた準備活動を行っているところです。

同国での主な活動拠点は、北部のキリマンジャロ州モシにあるキリマンジャロ農業研修センター(KATC)、および KATC に隣接し 2,300ha の灌漑面積(うち 1,100ha が稲作面積)を有するローアモシ灌漑地区です。



KATC 敷地内の圃場の様子。KATC は長年の JICA 支援により農機、人材、圃場等のリソースが豊富にそろっています

今後 AFICAT の活用を希望される本邦企業の農機の実証やデモンストレーションを、タンザニア農業省や KATC など現地関係機関と協力しながら進めていく予定です。

本田技研工業(株)さまによる現地視察

タンザニアでの本邦企業の活動第 1 号として、本田技研工業(株)さまが現地視察にいらっしゃいました。AFICAT 運営チームによる訪問先等のアレンジのもと、今回はモシ周辺の農村部 2 か所を訪問し、農民グループへの車軸式耕うん機を含む同社製品の説明や農機の需要等のヒアリングを実施しました。農民グループからは同社製品への関心が示され、また同社からも実際の現場を見られたことでより理解を深め、AFICAT 活用をより具体的に推進できるといったご意見をいただきました。視察の様子は AFICAT の活動と共にタンザニアの現地新聞紙(2022 年 4 月 4 日付)に大きく取り上げられました。タンザニアの人々に



AFICAT の活動を広く認知してもらうきっかけとなりました。

AFICAT to promote Advanced Technology for Agricultural Mechanization in Tanzania

Collaborating Japan and Tanzania Public Private Partnership

As one of the priorities for setting up AFICAT necessary functions, as depicted in the figure below, we will conduct existing facilities and organizations, other than the field site structures. It is expected that the AFICAT will become a center of excellence of agricultural mechanization for the farming in Tanzania.

Major benefits of AFICAT for Tanzania

- Agricultural mechanization and introduction of advanced technologies and equipment to increase productivity and improve crop yield
- Through implementation of production, utilization, and demonstration of advanced technologies, government officials and technicians in Tanzania will be trained for agricultural mechanization.
- Reduction and quality of cost and other cost as well as an increase and volume of production and improvement of the crop yield and income for small agricultural mechanized farmers and groups of farmers.

Major benefits of AFICAT for Tanzania

- Through implementation of production, utilization, and demonstration of advanced technologies, government officials and technicians in Tanzania will be trained for agricultural mechanization.
- Reduction and quality of cost and other cost as well as an increase and volume of production and improvement of the crop yield and income for small agricultural mechanized farmers and groups of farmers.

Major benefits of AFICAT for Tanzania

- Through implementation of production, utilization, and demonstration of advanced technologies, government officials and technicians in Tanzania will be trained for agricultural mechanization.
- Reduction and quality of cost and other cost as well as an increase and volume of production and improvement of the crop yield and income for small agricultural mechanized farmers and groups of farmers.

現地の新聞紙 Mwananchi(スワヒリ語)、Citizen(英語)に AFICAT の活動開始、本田技研工業(株)さまの視察の様子が取り上げられました

【新聞記事については、下記ウェブサイトをご参照ください】
<https://www.jica.go.jp/tanzania/english/activities/agriculture.html> ※最下段のリンク参照

今後 AFICAT では、AFICAT に関心を示していただいた本邦企業と対象国(タンザニア、ケニア、ガーナ、コートジボワール、ナイジェリア)での活動計画等について個別に協議をさせていただき、実際の活動開始に向けて支援を行って参りたいと思います。

編集後記

初回のニュースレター、いかがだったでしょうか。次回以降も現地の様子が伝わるように執筆して参りたいと思います。今後、毎月の定期発行を予定しておりますので、引き続きご愛読いただけますと幸いです。

編集・問合せ
 (株)かいはつマネジメント・コンサルティング 弓削田・狩野
 Tel: 03-5791-5083 Mail: aficat.team@kmcinc.co.jp
 AFICAT HP:(現在準備中です)

※ニュースレターの新規登録・登録解除をご希望の方は上記の宛先までお名前、企業名、メールアドレスをご連絡ください。